

令和6年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和6年11月20日（火） 令和6年12月18日（火）	CHAmmiT参加者（学生、教職員、および学生スタッフ）、FD委員会委員が参加し、2回の事後ミーティングを実施しました。 第1回の参加者は、学生4名、教員5名、職員4名、計13名 第2回の参加者は、学生6名、教員5名、職員4名、計15名 学部提案書について、各回約3時間で実現に向けて意見交換を行いました。

2 国際関係学部・短期大学部（三島校舎）から学生へのメッセージ

<p>FD CHAmmiTに参加した学生及び教職員が作成した学部提案書に対する2回の事後ミーティングは非常に有意義な場となりました。昨年度は、事後ミーティングによって提案された事項のうち、一部が実現した例もあり、FD CHAmmiTに参加した学生たちは「自分たちの声が届いた」という実感を得ることができたと思います。今年度は「学部に望む授業」について、学部提案書を作成いただきました。事後ミーティングでは、授業に対して学生たちが考えていることや改善してほしいこと、悩んでいること等を確認し、それに対して国際関係学部・短期大学部（三島校舎）としてどのような対応ができるのかを学生及び教職員が一緒になって考えることができたと思います。事後ミーティングで非常に活発な意見交換を行えたことは、これからの授業運営を改善するために貴重な機会になったと思います。今後ご意見・ご要望について前向きに検討し、改善を図って参ります。</p> <p>なお、学部提案書のうち回答項目としなかったものにつきましては、基本的に個人的な要望や質問であったため、ミーティング内で解決できた項目と判断し、回答書の項目に含めておりません。</p>

3 学部提案書の対応について

「学部に望む授業」の提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
自分に不足している部分を確認するために到達度確認テストの結果を開示してほしい。	○			成績について、担当教員に問合せすることができる期間を設定しています。本件に関する周知は、学内ポータルサイト：LiveCampusUで行っていますが、学生が認識していないことは周知が不十分であったと捉え、学生に情報が正確に届くよう、周知方法等の改善に努めます。なお、前学期の成績評価確認期間は、後学期削除・追加期間とし、通年・後学期の成績評価確認期間は、次年度前学期履修登録期間としています。
理解度を図るためにテストやレポートを充実させてほしい。	○			授業への要望は、授業評価アンケートの自由記述欄の有効活用を推奨いたします。授業評価アンケートを集計後、その結果を教員にフィードバックしており、学生の声が直接届くことになっています。また、教員はその結果を踏まえ、次年度に向けた授業改善計画報告書の作成が義務付けられており、改善に努めています。その他、授業に関する問合せは、随時教務課にお問い合わせください。
教員の連絡先（メールアドレス）を開示してほしい。	○			教員に対するメールアドレスの公開は、個人情報の観点から義務付けることができません。そのため、各教員の判断でシラバス等にメールアドレス等を公開しています。その他、Google ClassroomやCanvas LMS内で個別にメッセージを送ることができる場合があります。なお、教員と連絡を取る手段がなく、お困りの際は教務課にお問い合わせください。
初回の授業のオンデマンド化を検討してほしい。			○	初回の授業のオンデマンド化について要望がありました。その一方で、初回のオリエンテーションでも対面でなければ感じられない授業の雰囲気があり、オンデマンドでは不十分という意見や、授業開始前に各授業のオリエンテーションをオンデマンド配信し、初回の授業から通常授業を開始してほしいという意見もありました。総じて、状況次第でオンデマンドを有効活用する必要性は高いと感じましたが、意見がまとまらなかったため検討を継続し、次年度は従来通り対面授業を実施します。
答えのない問題について、多面的な視点で話し合う機会がほしい。			○	学生から、グループワークでの意見交換等を行うアクティブラーニングの機会を増やしてほしいという要望がありました。教員が積極的にアクティブラーニングを取り入れやすくするために、アクティブラーニングを積極的に導入している教員の授業を参観できる機会や教員の授業力向上を図るためのFD講演会、講習会の実施を設ける等をして、FD委員会と連携を図り検討したいと思います。

※令和7年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。